

京丹後市報道関係者情報提供資料

表 題	令和5年度 丹後古代の里資料館企画展示1及び京丹後市文化財セミナーの開催について
-----	--

1 年月日	令和5年6月1日(木)
2 所管課	京丹後市教育委員会 文化財保存活用課
3 連絡先	電話:0772-69-0640 / FAX:0772-68-9061

4 内 容

京丹後市立丹後古代の里資料館では、令和5年度企画展示1を下記のとおり開催いたします。あわせて、関連行事として京丹後市文化財セミナーを開催しますので、お知らせします。

記

1. 開催概要

- (1) 展示タイトル 令和5年度 丹後古代の里資料館企画展示1
「浜詰遺跡に生きた縄文人 ～京都府下唯一の貝塚を探る～」
- (2) 展示期間 令和5年6月10日(土)～9月18日(月・祝)
- (3) 展示場所 京丹後市立丹後古代の里資料館 企画展示室
〒627-0228 京丹後市丹後町宮108
休館日:火曜日 開館時間:9:30～16:00
- (4) 入館料 大人290円、小中学生150円

2. 展示内容

(1) 内容

浜詰遺跡(京丹後市網野町浜詰)は、京都府下で唯一貝塚が発見されている遺跡で、主に縄文時代中期～後期初頭に営まれた集落跡です(京丹後市指定史跡)。浜詰遺跡の貝塚は、縄文時代の丹後のくらしを教えてくれる大変貴重なものです。

令和2年4月、京丹後市教育委員会では、浜詰遺跡において第6次発掘調査を実施し、貝塚を検出しました。貝塚から出土した遺物には、縄文土器や石器をはじめ、貝類や動物骨といった動物遺体が数多く含まれていました。これら動物遺体の同定分析の結果、貝塚が形成された縄文時代中期～後期初頭における浜詰遺跡周辺的生活環境が浮かび上がってきました。

本企画展示では、浜詰遺跡に生きた縄文人のくらしを、第6次発掘調査で出土した貝塚資料を通してご覧いただきます。

なお、本企画展示及び関連行事は、歴史文化都市宣言及び京丹後市文化財保存活用地域計画に示す11のストーリーの一つ「半島と共に生きる食の知恵」に関連するものとして開催します。

(2) 主な展示資料

第6次調査で見つかった貝塚出土の土器・石器・貝類・動物骨など

3. 展示解説

日 時: 令和5年7月9日(日)10:00～11:00(当日は終日入館無料)

4. 関連行事

令和5年度第2回京丹後市文化財セミナー

タイトル 「浜詰遺跡に生きた縄文人 ～京都府下唯一の貝塚を探る～」

日 時 令和5年7月9日(日)14:00～16:30(13:30開場)

会 場 アグリセンター大宮多目的ホール(京丹後市大宮町口大野228-1)

定 員 200人(来場先着順、無料)

内 容 浜詰遺跡第6次調査で見つかった貝類や動物骨の分析成果からわかる当時の生活環境について講演会を行います。

○趣旨説明 「浜詰遺跡の貝塚について」

奥 勇介(京丹後市教育委員会)

○発 表 1 「浜詰遺跡の貝からわかること」

黒住 耐二(千葉県立中央博物館動物学研究所 上席研究員)

○発 表 2 「浜詰遺跡の骨からわかること」

植月 学(帝京大学文化財研究所 准教授)

<p><問い合わせ> 京丹後市教育委員会文化財保存活用課 担当:奥 電話:0772-69-0640 / FAX:0772-68-9061</p>
--

▶京丹後市は、令和5年4月1日に「歴史文化都市」を宣言しました。

▶京丹後市文化財保存活用地域計画 ストーリー「半島と共に生きる食の知恵」

令和5年度 丹後古代の里資料館企画展示1

はまづめ いせき い じょうもんじん
浜詰遺跡に生きた縄文人

かいづか
きょうとふかゆいつ
～京都府下唯一の貝塚を探る～



貝輪
(ベンケイガイ)

令和5年

6/10 土 》 9/18 月・祝

✓入館料：大人 290 円・小中学生 150 円（団体 15 名以上：大人 190 円・小中学生 90 円）

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は半額

※7月9日（日）は終日入館無料

✓開館時間：午前9時30分～午後4時

✓休館日：火曜日

京丹後市立丹後古代の里資料館

Tango Ancient Village

〒627-0228 京都府京丹後市丹後町宮 108 番地 Tel 0772-75-2431 Fax 0772-75-2432



浜詰遺跡第6次発掘調査で見つかった貝塚

浜詰遺跡に生きた縄文人 ～京都府下唯一の貝塚を探る～

○ 浜詰遺跡（京丹後市網野町浜詰・木津 / 京丹後市指定史跡）は、京都府下で唯一貝塚が見つかった遺跡です。主に縄文時代中期～後期初頭に営まれた集落跡になります。貝塚とは、縄文人が食べた貝や動物の骨などが積み重なったもので、

○ 浜詰遺跡の貝塚は、縄文時代の丹後の暮らしを教えてくれる大変貴重なものです。

○ 令和2年4月、京丹後市教育委員会では、浜詰遺跡において第6次発掘調査を実施しました。その際に発見した貝塚からは、縄文土器や石器をはじめ、貝や動物の骨などが数多く見つかりました。

○ 展示では、浜詰遺跡に生きた縄文人の暮らしを、第6次発掘調査で見つかった貝塚の資料を通して考えます。

◎ 展示解説

7月9日（日）午前10時～11時（当日は終日入館無料）

※展示にご協力頂いた関連行事セミナー講師の先生方とともに展示解説を行います。



微小貝（目盛間隔1mm）

◎ 関連行事

令和5年度第2回京丹後市文化財セミナー

「浜詰遺跡に生きた縄文人 ～京都府下唯一の貝塚を探る～」

- ・日 時：7月9日（日）午後2時00分～4時30分（午後1時30分開場）
- ・会 場：アグリセンター大宮多目的ホール（京丹後市大宮町口大野 228-1）
- ・定 員：200人（申込不要・当日先着順、無料）
- ・内 容：趣旨説明 「浜詰遺跡の貝塚について」 奥 勇介（京丹後市教育委員会）
発表1 「浜詰遺跡の貝からわかること」黒住 耐二（千葉県立中央博物館）
発表2 「浜詰遺跡の骨からわかること」植月 学（帝京大学文化財研究所）



シカの歯



貝類



フグの歯骨



骨製品



京丹後市立丹後古代の里資料館

【アクセス】

京丹後鉄道宮豊線「峰山」または「網野」駅から丹海バス（丹後海陸交通）「てんきてんき村」または「丹後庁舎前」バス停下車、徒歩10分
※電車やバスの本数は多くありません。事前に時刻表等をお確かめのうえ、お越しください。
※無料駐車場あり（大型バス3台・普通車24台・身障者用1台）。